

会 議 録

1 会議名

令和元年度上越地域若年者自立支援ネットワーク会議

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 上越地域若者サポートステーション平成 30 年度事業報告について（公開）
- (2) 上越地域若者サポートステーション令和元年度実施計画について（公開）
- (3) 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について（公開）
- (4) その他

3 開催日時

令和元年 8 月 7 日（水）午後 2 時から午後 3 時 20 分まで

4 開催場所

上越市役所 401 会議室

5 傍聴人の数

0 人

6 非公開の理由

—

7 出席者氏名（傍聴人を除く。敬称略）

- ・会 員：植木昇、芋川岳宏、佐藤芳弘、難波祐子、藤田健男、宮澤昭弘、小林泰心、渡部准次、春日健一、五十嵐透子、吉川保、伊藤正広、関田隆弘、大國祐子、城戸陽二、山崎和俊、久保田直子、佐藤信二
- ・事務局：上越市産業政策課 水澤副課長、労働係 近藤係長、長谷川主事
上越地域若者サポートステーション 浅野総括コーディネーター

8 発言の内容

議題(1) 上越地域若者サポートステーション平成 30 年度事業報告について

※事務局より資料 1～6 に基づき一括説明

○質疑・意見等

質問・意見なし

議題(2) 上越地域若者サポートステーション令和元年度実施計画について

議題(3) 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について

※事務局より議題(2)と(3)は関係するので、あわせて資料No.7～9に基づき一括説明

○質疑・意見等

(上越パーソナル・サポート・センター：宮澤会員)

- ・基盤的支援メニューはどのくらいの期間を想定しているのか。

(事務局：浅野総括)

- ・サポステでは6か月を基本的な期間としているが、全体としては3か月で動くことが多い。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・就職している割合が6割という数字があるが、サポステを利用しても4割は就職できていない。就職できない人が毎年いるのが読み取れるが、就職できない人へのフォローをどのように行っているのか。

(事務局：浅野総括)

- ・6か月を超えるフォローも行っている。ただ、連絡が取れなくなる人に関しては6か月以内であっても、対応ができなくなっている。連絡が取れる方は引き続き対応している。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・連絡がこないからフォローしないということではなく、その部分をどのようにフォローしていくのが大事である。サポステに出てこれないような人へのフォローを行っていく必要があるのではないかと。
- ・資料9で各種支援団体が出ているが、どのくらいの紹介があるのかなど数字を示してほしい。また、医療が必要な人も入ってくる。医療への紹介も必要なので、連携があるのかなのかデータを示してほしい。
- ・サポステは39歳が上限というくくりがあるが、39歳を過ぎた方はどうしているのか。年齢で相談を切っている方はいるのか。

(上越市産業政策課：佐藤会員)

- ・個々の方への対応については、個別カルテのようなものを持たない限り難しいのではないかと。個人情報保護法などの関係もあり難しいところもあるが、そういった工夫も必要となってくる。同じ方が様々な支援機関に行くことも想定されるので、情報共有の仕組みの検討も必要。

(事務局)

- ・39歳以上の方について、サポステで支援の状況をまとめているようであれば、話をいただきたい。

(事務局：浅野総括)

- ・対象となる各機関に相談をし、つなげるようにしているが、数字のデータとしては把握していない。今後サポステの中でどのように統計が取れるか検討をしていきたい。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・39歳以上の方が相談に来たら、他の機関に紹介するとのことだったが、サポステを頼ってきているのに、他に上越市内に紹介する機関はあるのか。

(事務局：浅野総括)

- ・相談に来た方については、まずは相談に乗っている。話を聞いた中で適切な機関に紹介している。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・39歳以上の方の相談件数等統計を載せたらどうか。データを出して、行政機関に応援を求めるのが良いと思う。

(事務局)

- ・意見を頂いた「不足している資料」の公表等は、サポステと連携をとりながら検討していきたい。

(事務局)

- ・年に一度の会議なので、これまで説明のあった平成30年度の事業報告、令和元年度の計画、今後の連携等について、皆様から一言ずつお願いしたい。

(上越公共職業安定所：植木会員)

- ・若者向け就職支援コーナーを設けており、専門職を1人配置している。

(上越公共職業安定所妙高出張所：芋川会員)

- ・サポステとの連携で意思の共有は図れているが、対外的なアピールが不足しているということを感じた。ハローワークとしてもできることはやっていきたい。

(糸魚川公共職業安定所：佐藤会員)

- ・糸魚川のハローワークでは専門の担当があり、相談をした中でサポステに紹介したりしている。40歳以上の方をどのように各機関へつなぐかが今後の課題と感じている。

(障害者就業・生活支援センターさくら：難波会員)

- ・障害のある人がサポステから紹介されてくる。センターからサポステへの紹介は少ない。窓口としては、サポステから繋がってくるほうが対応しやすい人もいる。県の労政雇用課の事業で、職場実習制度を活用している。これが有効な事業で10年以上実施している。実際に職場を体験させていただくことはありがたい。もっと色々な職種で体験できるようになるとありがたいと思う。

(NPO 法人えちご若者元気塾：藤田会員)

- ・自立支援に向けてネットワークがより有効になるといい。

(上越パーソナル・サポート・センター：宮澤会員)

- ・前年度新規の相談者が193名いて、そのうち81名を支援した。その中で10代から30代では37名、支援した方は15名となっている。着地点として就職があるが、生活困窮者であるため、就職に向けて時間的余裕がなく、サポステにお願いしにくい部分もある。

(上越商工会議所：渡部会員)

- ・会議所としてできることは、企業に様々な周知をすることだと思っている。チラシ等を企業に周知することは可能なので、配布してほしいチラシがあれば会議所に申し出てほしい。

(上越商工会連絡協議会：春日会員)

- ・商工会は小規模な事業所が多く、職場体験は厳しいところもあるが、チラシ等を会員に情報提供できるので、各商工会と情報提供に努めていきたい。

(新潟県高等学校長協会：吉川会員)

- ・6月11日の上越地区校長会でサポステの周知を行った。南城高校としてはサポステ

を活用して、就職につなげていきたい。

(新潟県上越地域振興局健康福祉環境部：伊藤会員)

- ・保健所では、心の悩みやひきこもり相談を受けている。保健所ではひきこもりの相談件数は少ないが、就業につなげられるものについてはつなげていきたい。

(新潟県産業労働部労政雇用課：関田会員)

- ・就労に困難を抱えている方への支援の枠組みはたくさんあり、障害者、発達障害、精神疾患、難病、サポステ等ある。様々な仕組みで国がスキームをつくる際に県が意見を求められることがある。地域の現場では連携を図っているのに、現場の状況を県の本庁が知らないというケースがある。

(新潟県上越地域振興局企画振興部：大國会員)

- ・日頃の業務において中小企業を回る中で、支援メニューについて話をしていきたい。普段の業務において就労相談を受ける中で、若い方でも人間関係が築けなく、この後どうしたらいいといった相談をよく受ける。若い人の早期離職防止の研修をやっているが、ひきこもり状態にならないように相談で食い止めたりできたらいいと感じている。

(妙高市観光商工課：城戸会員)

- ・実際に妙高市で若者と向き合っているのは、福祉部門や教育委員会である。教育委員会に実態を聞くと、サポステに結びつけることができているひきこもりの人も大勢いると聞いている。実務レベルであればそこまで窓口を広げ、連携が図れるようにつなげていければと思う。

(糸魚川市産業部商工観光課企業支援室：山崎会員)

- ・糸魚川では直近の有効求人倍率が2倍を超えており、労働力の不足という観点から、外国人の雇用を進める企業が増えている。その中で糸魚川市では平成28年度からテレワークを推進している。姉妹都市の長野県塩尻市がテレワークの先進地であり、その事例を参考に、廃校にテレワークオフィスを開設し、17の方が仕事をしている。また、今年度のセミナーも13人が受講している。その中で障害者の就業支援施設から紹介を受けてきた方がいた。現時点でワーカーとして働けるかわからないが、そういった方々もオフィスで働けるのではないかと思っている。

(上越教育大学：五十嵐会員)

- ・この5年間でネットワーク会議と実務担当者会議をふまえて、サポステは多くの機関と連携が取れるようになってきていると感じている。サポステの名前すらわからない状態から、現在では商工会等にも理解をいただき、拡大してきている。
- ・40歳以上の受入をどうするかという話があったが、サポステで初回対応している。規定は39歳となっているので、それぞれの方が適切な機関に繋がるようにしている。ただ、サポステでいつまでも登録を続けるだけで、支援に繋がらないのは望ましくないので、6か月を一つの目安として、連絡の取れない方は利用中止としている。そういう方は個人情報の関係でどこに情報を出すこともできない。サポステは本人の許可がないと個人情報を出せないなので、こういった方々の対応をどうしていくのか今後の検討課題であると思う。

9 問合せ先

上越市産業観光交流部産業政策課 TEL：025-526-5111

E-mail：sangyou@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。